

小川芳樹 よしきは 小川金吾者、工學博士。明治二十五年二月二十九日東京赤坂靈南坂生れ、昭和二十四年二月二十七日歿（九〇一五九）。地質・地理學者小川琢治の長男。大正十四年東京帝國大學工學部冶金學科卒。東北、九州、京城各帝大の教へたうち、昭和十七年母校東京帝大に轉じ、爾來終時まで冶金學科教授。また京大に關係講座開設の努め、三十二年間講じ及んで教授を兼任。日本鑛業會第（二十）代會長。平生漢詩、和歌を能くし、遺稿集『技術の表裡』（昭和二十五年三月十日小川清子刊）のその一端を附載。他公實弟に就て記した『隨想湯川秀樹』（他と名合書、昭和二十五年十一月十日甲文社）がある。



技術の表裡

小川芳樹